

新刊刊行記念！特別講演会

解きながら楽しむ 古事記と神様の世界 いつから我々は「日本人」なのか

かつて列島の各地に住んでいた人々は、いつから「日本」という国家を意識して生きてきたのでしょうか。その意識の発生には、大和王権国家の歴史書である『古事記』が大きく関わっています。

『古事記』は国の歴史を、あえて神話の時代から始めます。そこには神話が持つ神秘の力を利用して「日本」の国作りをしようとした大和王権の思惑が隠されているのです。

ヤマタノオロチ退治の神話とコノハナノサクヤビメの神話を例に、『古事記』を読み解きながら精神史上の日本の成立を考えます。



講師 早稲田大学教授

松本直樹

早稲田大学教育・総合科学学術院（教育学部国語国文学科）教授。また、早稲田大学常任理事。専門は上代文学。主な著書に『神話で読みとく古代日本—古事記・日本書紀・風土記』（筑摩書房）、『解きながら楽しむ 古事記と神様の世界』（くもん出版）などがある。

日時

2025 年 **12 月 19 日**（金）
18:30 ～ 20:00（開場 18:10）

場所

紀伊國屋書店新宿本店 3 階
アカデミック・ラウンジ



**参加
無料**



二次元コードより事前の申し込みをお願いいたします。
（事前申し込みが無い場合も、当日ご参加いただけます。
会場までお越しください。）

※ただしお席には限りがございます。）

くもん出版の「解きながら」シリーズは、シリーズ累計 17 万部突破！
「解きながらシリーズ」の新刊、『解きながら楽しむ 古事記と神様の世界』（著：松本直樹）が好評発売中です！！

『古事記』を古文で読み、簡単な問題を解きながら、世界で共通する神話の型や、神話に隠された政治的な意図まで理解を深めます。
古文を読み上げる音声付きなので、初めての方でも楽しく自分で読み進められます。